

## 国際コンファレンス アジア市場の統合と金融革新



セッション3：アジアの市場統合 ～競争か、協調か～

### アジア資本市場の発展に向けて

柏木茂介

野村 HD リスク・アドバイザー・グループ担当執行役員

#### 概要

- アジアの経済統合が進展するなか、域内の金融・資本市場も十分に統合を支える必要がある。この観点では、市場型金融モデルの必要性が高まっているといえ、実際にも、政府による資本市場の育成に向けた積極的な取り組みも進められつつある。
- アジア資本市場の発展は、統合、効率性及び競争を一体的な目的として、各要素のバランスを図りながら進める必要がある。このうち、統合と効率性の領域に関しては、一層の協調が求められる。また、競争の促進には、透明性のある公平な競争条件の確保が重要となる。
- アジアの金融システム・市場の発展のためには、域内における健全な競争と規制調和のバランスをとることが重要である。競争の具体例には取引市場間のものなどがある。具体的な対応策としては、地域内協力を要するもの、及び各国にて対応するものがある。これらには、金融の「産業」としての育成やソフト及びハード両面でのインフラストラクチャーの整備、グローバルな金融規制改革議論への積極的な関与、一貫性・予見可能性のある規制・監督が含まれる。
- アジアには多大な機会があり、活用資本の余地も十分にある。広くアジア金融市場の一層の発展に向けては、年金基金、保険セクター及び投資信託といった域内における長期的機関投資家の育成が必要である。
- 規制強化による銀行セクターへの負担が増すなか、アジアへの継続的な長期資金の供給には、統合、効率性及び競争を通じた資本市場の発展が必要である。